

小中一貫型学校について

1. 課題認識(第1回審議会資料再掲)

- ① 小中一貫教育の推進の観点から、施設一体の小中一貫型学校の果たす役割、意義、目的、メリットなどを明確化する必要がある
- ② 施設一体の小中一貫型学校になり得る学校及び配置に関する基本的な考え方の整理が必要である

2. これまでの取組(小中連携教育～小中一貫教育)

小中連携教育(平成19年度～21年度モデル実施、平成22年度スタート)

- ① 背景
いわゆる「中一ギャップ」への対応 / 児童・生徒の発達の早期化等に関わる現象
- ② 目的
小学校教育から中学校教育へ円滑に移行させることで、義務教育9年間を通した子どもたちの発達に合わせた学びの実現
- ③ 取組
学びのエリアの設定 / 教育支援センターの開設 / 小中一貫教育指導資料の作成
- ④ 成果等
幼小中連携カリキュラムによる環境教育及びキャリア教育の推進 / 教員間の協力関係の向上

小中一貫型学校について

(前ページの続き) 2. これまでの取組(小中連携教育～小中一貫教育)

小中一貫教育(令和2年度スタート、令和4年度完全実施)

① 背景

学校教育の使命を以下の2点と捉えて、その手段の一つとして小中一貫教育を推進する。

- ・ 子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる居場所をつくること
- ・ 子どもたちが自己実現を達成するための確かな学力の定着・向上を図ること

② 目的

いわゆる「中1ギャップ」と呼ばれる現象の解消

義務教育9年間を通じた教育課程の編成及び系統性・連続性に配慮した特色ある教育活動の推進

CS委員会を通じた小学校と中学校の連携・協働による地域の教育力を一層高めた魅力ある学校づくり

③ 取組

9年間の年間指導計画(単元配列表)に基づいた授業の実施 / 板橋のiカリキュラムに沿った授業実践 /

小学校高学年での一部教科担任制 / 中学校での学年呼称変更 / 学びのエリアを統括する「エリア長」の決定

小中一貫教育コーディネーターの任命 / 生活科、総合的な学習時間を核とした探究的な学習の推進(※)

9年間を通じた学級活動による自発的・自治的な活動の充実(※)

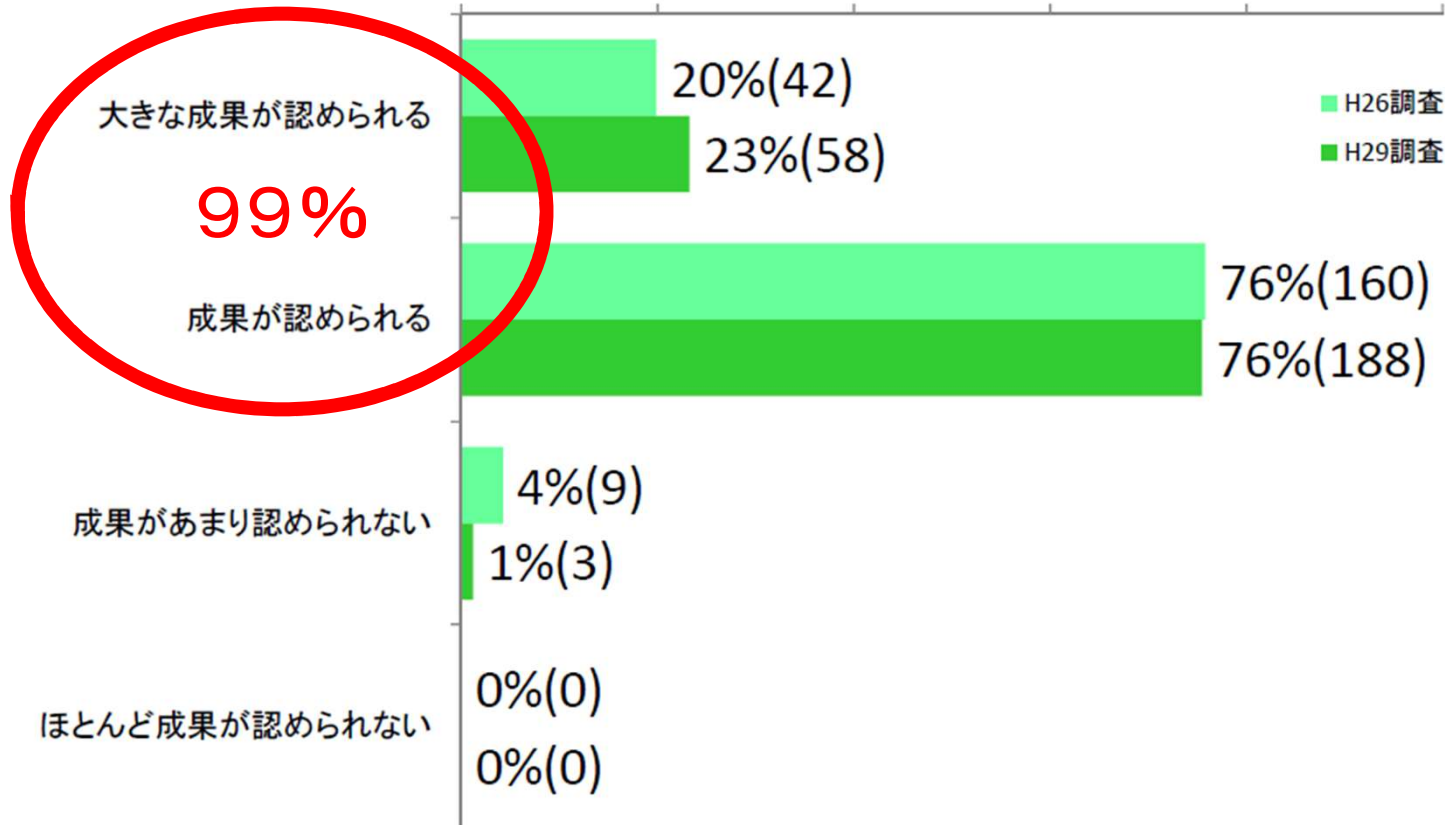
(※) 令和4年度完全実施により加わった取組

小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(成果)

小中一貫教育の導入状況調査

(文部科学省 平成29年3月1日時点調査) から抜粋

【公立】



回答: H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育の成果①

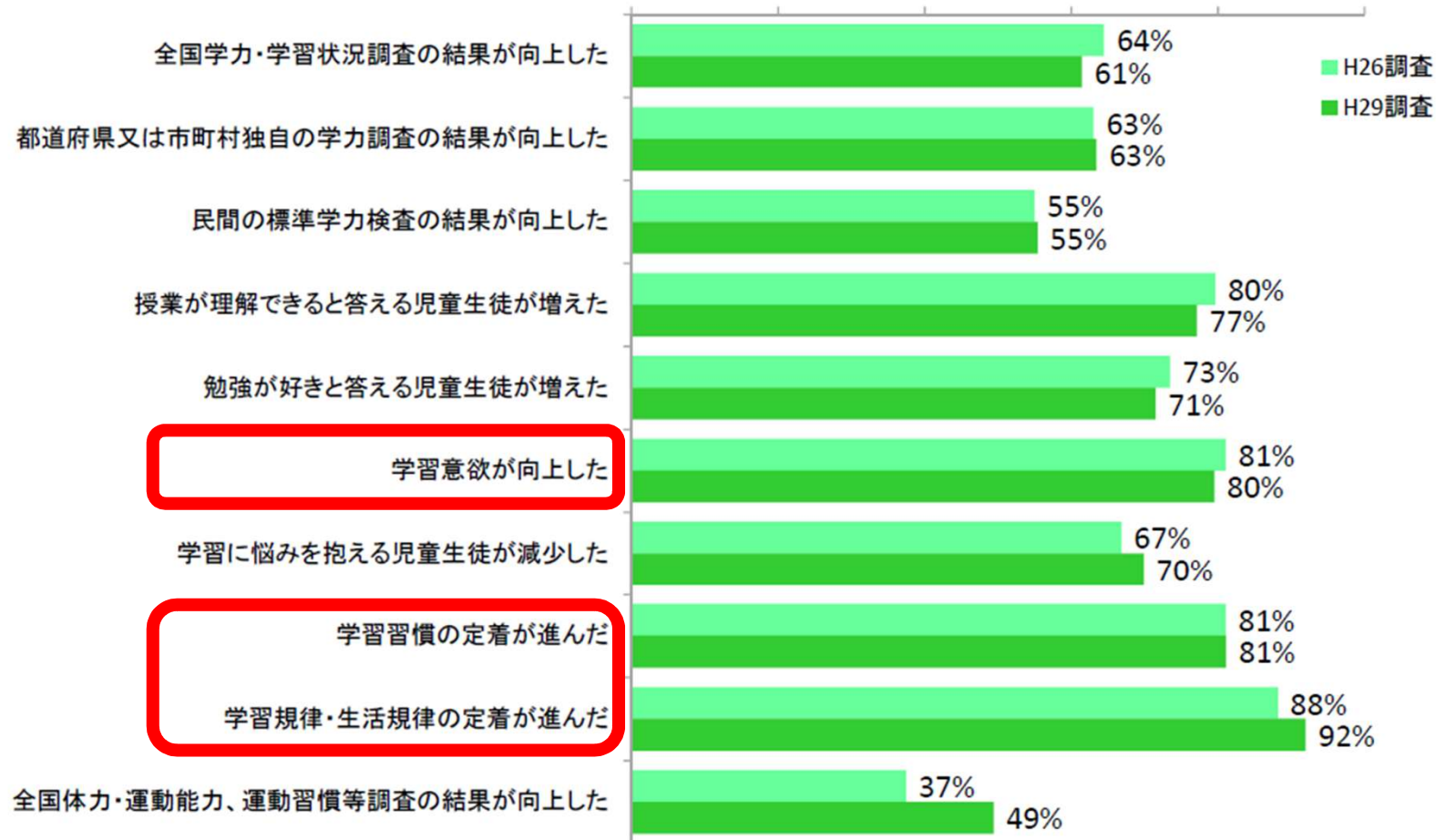
小中一貫教育の導入状況調査

(文部科学省 平成29年3月1日時点調査) から抜粋

【公立】

学習指導等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



回答: H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育の成果②

小中一貫教育の導入状況調査

(文部科学省 平成29年3月1日時点調査) から抜粋

【公立】

生徒指導等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



回答:H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育の成果③

小中一貫教育の導入状況調査

(文部科学省 平成29年3月1日時点調査) から抜粋

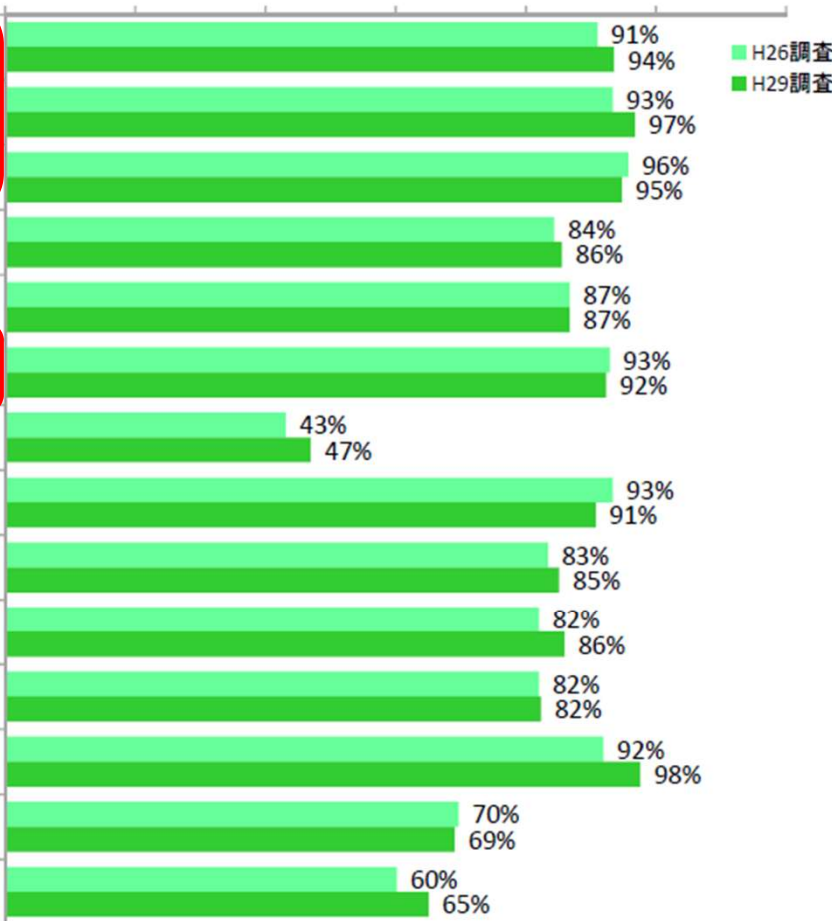
【公立】

教職員の協働等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合

- 小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった
- 小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった
- 小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった

- 教員の指導方法の改善意欲が高まった



回答:H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育の成果④

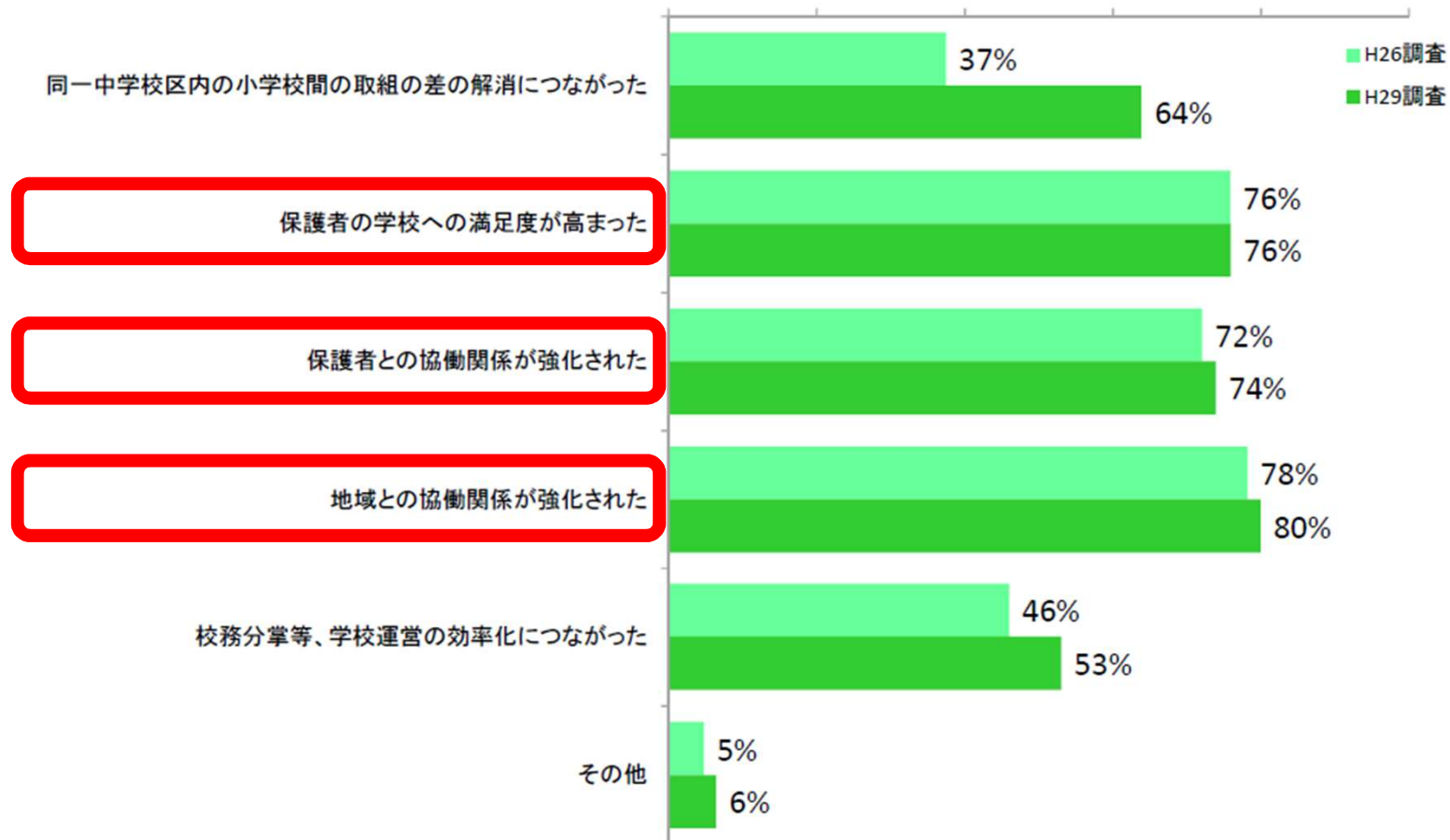
小中一貫教育の導入状況調査

(文部科学省 平成29年3月1日時点調査) から抜粋

【公立】

その他、学校運営等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



回答: H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育の課題①

小中一貫教育の導入状況調査

(文部科学省 平成29年3月1日時点調査) から抜粋

【公立】

学習指導、生徒指導等

※「大きな課題が認められる」、「課題が認められる」と回答した割合



回答: H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
 H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育の課題②

小中一貫教育の導入状況調査

(文部科学省 平成29年3月1日時点調査) から抜粋

【公立】

教職員の負担等

※「大きな課題が認められる」、「課題が認められる」と回答した割合



回答: H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫型学校について

3. 区の方角性(いたばし魅力ある学校づくりプラン後期計画等の策定に向けて)

① 小中一貫型学校の設置について

- 小中一貫教育の導入状況調査(文科省)では、小中一貫教育の導入から時間が経つにつれて成果が延び、課題が解消されている状況を確認することができる
- 全ての学校を小中一貫型学校として建設することは現実的ではなく、学びのエリアを基軸とした小中一貫教育を推進する
- 小中一貫型学校において施設が一体であることのメリットを活かした特色のある取組を実施し、その取組や効果を学びのエリア内・全区的に展開することで小中一貫教育の効果的な推進を図る

【小中一貫型学校の目的や役割】

目的	○施設や空間を活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現 ○施設が一体であることのメリットを活かした小中一貫教育の効果的な推進 ※小・中学校間の相互乗り入れ指導や小・中学校を一体的にマネジメントできる組織体制の構築 など
役割	学びのエリアを核とした小中一貫教育を効果的に進めるための「小中一貫教育、義務教育パイロット校」

② 学校運営や学校整備について

- 他自治体の先行事例や小中一貫教育の導入状況調査の回答内容を参考にしながら、小中一貫教育の目標や目的につながるような取組を推進する
- 校地面積など学校施設の状況を踏まえて、中学校の改築時期を捉えて検討することを基本とする